



◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「わ(会員)の心を学び育てて共に活動をやり切ろう」

例会日/毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場/広島サンプラザ TEL (082) 278-5000
 会長/佐伯 敬男 幹事/吉野 篤敬

事務局

〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号
 廿日市市商工保健会館4F
 TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491
 E-mail / office20@h-hrc.com
 URL / http://www.h-hrc.com/

第899回 ホテルグランヴィア広島 2016年5月9日

創立21周年記念夜間例会

会長時間

青少年奉仕月間に因んで

会長 佐伯 敬男

皆さん今日は。会長の佐伯です。初めに広島廿日市ロータリークラブ創立21周年記念月間に当たり誠にありがとうございます。当クラブは中本利夫初代会長に始まり代々の会長のご尽力により和の心を持ったクラブとして成長しております。次年度も22周年を目指してより大きく活動をしていきたいと念願しておりますのでよろしく願っています。

さて今月は青少年奉仕月間となっておりますが、最近のテレビ、新聞など見るとときに青少年の行動が良しにつけ悪しきにつけ私たち大人にいろんな疑問をなげかけております。それにはしっかり答えていくこれも大事なことだと思っております。そしていずれは若い世代に私たちはバトンタッチする時が来るわけですから、しっかりと見守っていきたく思います。

又青少年の教育について言及されている先生がいます。それは、東京学芸大学 谷 俊治名誉教授です「日本の教育は知、つまり知識ばかりが重視されてきた傾向があります、人間の基礎に当たる情すなわち相手への思いやりといった感情を育てる視点が、おろそかになってきたように思えてなりません。社会全体でみると、スマートホンやインターネットといった知の肥大化の象徴のような媒体の普及によって顔と顔を合わせて語り合う、いわば情と意を育む機会がむしろ減ってきているのではないのでしょうか」と言及されています。私たちは教育の現場ではなにもできませんが社会の現場ではできることがあると思いますので考えていきたく思います。



第900回 広島サンプラザ 2016年5月16日

卓 話

青少年奉仕月間に因んで

インターアクト・青少年奉仕委員長 梶田 滋 会員



30歳までの若い人の育成を支援するため、5月は「青少年奉仕月間」に指定されています。新世代のためのプログラムとしては4つがあります。

- ①インターアクト
- ②ローターアクト
- ③ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)
- ④青少年交換

①インターアクト

インターアクトは、「インターナショナル」と「アクション」の合成語で、12歳から18歳の青少年によって構成されています。このインターアクトは、各地域や海外で積極的な奉仕活動を実施する組織とされています。インターアクト・クラブは、支援や指導を与える個々のロータリー・クラブがスポンサーとなっています。しかし、インターアクト・クラブは運営面でも経済的にも自立していることとされています。

2710地区には、19のインターアクト・クラブがあります。2015年6月24日現在、広島地区11クラブ、山口地区8クラブがあり会員数は443名になっています。1996年12月、当クラブの提唱により、2710地区で15番目のクラブとして、山陽女学園高等部インターアクト・クラブが結成されています。2014年には武田中学高等学校が、2015年には崇徳中学高等学校が設立しています。一方、会員数の激減により徳山高専が解散しています。

会員基盤は1つの学校の学生から集められる場合がほとんどですが、東城高等学校のように東城応援隊という地域団体に所属する生徒での構成もあります。インターアクトは、奉仕活動を通して次のことの重要性を学び行動することを目的としています。

- 1) 指導力と誠実な人格の形成
- 2) 他者を尊重し、進んで助ける態度
- 3) 各自の責任を果たし、一生懸命努力することの尊さ
- 4) 国際理解と親善の推進

さらに、毎年、インターアクト・クラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクターは地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築き、このプロセスの中で、インターアクターは指導者としての技能を磨き、一生懸命働くことの価値を学ぶこととなります。

2710地区のインターアクトでは韓国研修旅行が大きな事業ですが、それ以外にも次のような大きな事業があります。

- 1) 地区大会
- 2) 韓国3690地区インターアクト・ホームステイ受入れ
- 3) 指導者研修

これを行う場合、ホスト校はかなりの負担がかかることとなります。2006-07年度に山陽女学園は次の全てのホスト校になっています。このようなことは、過去にあまり例がないものと思われます。

②ローターアクト

ローターアクトは、ロータリーがスポンサーとなっている18歳から30歳までの青年男女のための奉仕クラブです。ローターアクト・クラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリー・クラブがスポンサーとなっています。ローターアクト・クラブは、スポンサー・ロータリー・クラブの真の「奉仕のパートナー」であるとされ、ロータリー家族の重要な一員であるとみなされています。

ローターアクト・プログラムを通じて、若い世代の成人は知識や技能を学ぶばかりでなく、地域社会の物理的・社会的ニーズに取り組みながら、友情と奉仕の枠組みの中で国際理解と平和を推進していきます。

2710地区には6つのクラブがあり会員数は67名にすぎません。去年ローターアクトは香港に研修旅行に行ったそうですが、現地のローターアクトは4,000名以上の会員数であり、双方とも大変驚いたとのことでした。

③ロータリー青少年指導者養成プログラム

(Rotary Youth Leadership Awards)

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) には、毎年、世界中の何千人もの青少年が参加しています。リーダーシップの資質を備えている14歳から30歳までの選ばれた青少年が、ロータリーが全費用を負担するセミナーやキャンプ、ワークショップに出席し、指導者としての技能について話し合ったり、練習を通じてこれらの技能を習得したりします。ロータリー・クラブと地区が参加者を選考し、この行事のカリキュラムを進行することになります。

RYLAの目標は次の通りです。

- 1) ロータリーの青少年への尊重や配慮を身をもって示すこと
- 2) 選ばれた青少年や潜在性を有する将来の指導者に対して効果的な研修を与えること
- 3) 青少年の指導力を青少年によって促進させること
- 4) 地域社会のために奉仕を行う青少年を公に認証すること

1971年にRYLAは国際ロータリーによって正式に採用され、ロータリー奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つとなりました。

大之木ガバナー年度に当クラブがホストクラブになり、宮島でRYLAを行いました。「平和」と「宮島」をどのように結びつけるか、参加者をどうやって確保するか、予算不足をどうやって解決するか等、開催準備、当日の運営とも大変でした。しかし、それ以上に参加者の心無い行為で広島市立大学の女子留学生に不快な思いをさせたことにより、その後始末は準備以上に疲れてしまいました。飲酒は要注意です。

2016-17年度は福山RCがホストクラブになり、10月1日～2日に福山の「ツネイシしまなみビレッジ」で開催されます。

④青少年交換

実際に異なる文化に浸ることは、国際理解および平和を推進するための最も強力な方法と考えられています。国籍に関わらず、すべての人々が同じ基本的なこと、すなわち自分自身や子供たちが豊かに満足して生活できる安全で快適な環境を求めているのだということを知れば、世界はより小さく、より友好的な場とな

ることが期待できます。

そのような考え方のもと、青少年交換は、他国の人々と出会い、他の文化を体験し、生涯にわたる国際理解の種を播く機会を青少年に与えることを目的としています。

1927年以来、ロータリー青少年交換プログラムの豊かな内容によって、世界中の学生やホスト・ファミリーにとってますます可能性が広がり、さらに人生を充実させることができるようになりました。ロータリー・クラブや地区、多地区グループによって管理されるこのプログラムに、現在、毎年82カ国以上の8千人を超える学生が参加しています。

記録に残っている最初の交換は、フランスのニース・ロータリー・クラブがヨーロッパ諸国の学生と交換を始めた1927年にまで遡ります。米国カリフォルニア州のクラブとラテン・アメリカ諸国の間の交換が1939年に開始され、1958年には米国東部にまで交換活動が広がりました。1972年、国際ロータリーの理事会が、世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として、世界中のクラブに青少年交換を推奨することに同意するに至っています。

山陽女学園高等部では、次の方々が派遣学生になっています。

2000年～2001年度 清水千恵さん

2004年～2005年度 加藤奈美さん

2006年～2007年度 高橋詩織さん

最近では2710地区でも応募者が少なく毎年2～3名でしたが、2016-17年度は6名の高校生が派遣されることになっています。

以上

第901回 広島サンブラザ 2016年5月23日

会長時間

パスト会長 渡邊 英晶



みなさんこんにちは 渡邊です。パスト会長ということで会長時間をお借りします。

ロータリー歴は約20年になります。当時はまだ、クラブを創設したばかりで、ちょうど5周年時にニュージーランドの姉妹ロータリークラブのギズボーンウエストRCが来広されみなさん、経験もなくかなり右往左往した思い出があります。

私が会長を務めました時はロータリー15周年の時でしたから6年前になりますが、周年事業にはじめて台北のクラブを招待することになりました。

5周年時の経験で15周年時の南港ロータリークラブを式典にお迎えしたときは多少気持のゆとりがございましたが、なんせよくお酒を飲まれるので大変だった記憶があります。

中国式と言いましょか、お酒を勧めたら必ず飲み干して返杯する。最初は驚きましたが、酒を飲んで心を許して友情を深める。まさに時間を短縮しての合理性を学びました。

亡くなった父が軍属として台北の病院に勤務しておりました。戦後に台北の友人が父親を訪ねて来られた事がございました。父は相当お酒が強かったのですが、ペロペロに酔っ払っていたのを子供心に覚えております。

台北は島ですが、やはり中国という大陸にルーツを持たれる方のスケールは大きい。もちろんそれは酒だけでなく考え方や生き方を含めてです。

次年度は台北南港ロータリークラブにおじゃまする年ですので、どうかまだ行かれてない方はぜひ参加し

てください。そのことによって、全く人生観が変わるかもしれません。

卓 話

皆さんご存知ですか？ 再エネ発電賦課金

竹田 平 会員



第 902 回 広島サンブラザ 2016年5月30日

会長時間

パスト会長 有田 晴好

卓 話

私の野球人生とカープを語る

元広島東洋カープ投手 北別府 学 様



第 903 回 広島サンブラザ 2016年6月6日

会長時間

ロータリー親睦月間

会長 佐伯 敬男

皆さん今日は。会長の佐伯です。親睦月間に因んで何かと悩んだのですが歌でもよく歌われている初代桂春団治の生き様を読んだことがあるので少し話してみたいと思います。落語家には奇人変人はつきものですが、この初代桂春団治ほど人も芸も桁外れな人はいないそうです。たとえば芸座に彼の出番が回ってくると、入場料が5銭上がったといわれたほどだそうです。当時の大阪落語は彼を中心にして回っていたようです。若いときは生意気と言われ、それからじゃじゃ馬、スカタン、ゴクガン、とも言われごり押し漢が強く本来彼は二代目であるのに初代を僭称して押し切ったそうです。

晩年には最顧客の船場の大商家の未亡人と結婚して入り婿となり商いに手を出してみるみる内に財産を枯渇してしまっただけです。昭和9年4月に亡くなり大阪落語は急速に傾いたそうです。春団治の話を知ると私も少しは近づけたらと思っております。いずれにし

ても人生は大変な時もありますがチャップリンの名言集の中に「人生はクローズアップで見れば悲劇、ロングショットで見れば喜劇」とあるようにロータリアン同志がこれからもしっかりと親睦を図りながら喜劇になるように活動していけたらと願っています。



卓 話

健康で充実した人生のために

NPO法人ステップ21 本部 山田 文子 様



第 904 回 広島サンブラザ 2016年6月13日

卓 話

天使の調べをどうぞ

ヒロシマハンドベルリンガーズ 様



第 905 回 酔心本店 2016年6月20日

最終夜間例会

退任挨拶

会長 佐伯 敬男

皆さん今晩は。会長の佐伯です。今日は今年度最終夜間例会となります。

この一年、高尾副会長、吉野幹事はじめ理事役員及び各委員長、委員の皆様には大変お世話になりました。又事務局の檀さんにも見えないところで頑張っていたいただき有難うございました。私もこの一年テーマにしました



「わ（会員）の心を学び育てて共に活動をやりきろう」と決めて活動をしてきましたが私なりに皆様のおかげで有意義な一年であったと思っております。又次年度は高尾会長年度になりますがテーマとして「会わなければ始まらない！ Face to Face!」と言われていました。メールも時間を考えれば大事な部分ですが、会って顔を見ながら話をする事の素晴らしさは私も同感できますので活動に力を入れていきたいと思っております。短い挨拶ですが退任挨拶に代えさせていただきます。



2009-2010学年度 ローター栄山奨学生 崔 明福

梅雨に入り、うっとうしい日が続いております。広島廿日市ロータリークラブの皆様、お変わりございませんか。

私は、引き続き広島大学で、国際交流グループに所属し、海外からの留学生受け入れの仕事をしています。

さて、青木さんから、この度大藤さん、松浦さんお二人が叙勲を受賞されとお聞きしました。誠にめでたく、心からお祝い申し上げます。

お二人とも永年公務に専念し、地域に貢献したことが認められ、この度の受賞に繋がったとお聞きしました。

お世話になった広島廿日市ロータリークラブから二人も受賞されたことは、大変名誉なことで、私までうれしくなります。

中国では、60歳になると既に老人扱いされ、仕事をする人はいません。しかし、大藤さんと松浦さんはいつまでも若々しく現役で仕事をされながら、ずっと社会のために活躍しておられます。その姿を拝見するにつけ、本当に心から尊敬しています。

私も大藤さんと松浦さんに見習って、これまで以上に頑張って仕事をしていきたいと思っております。今年の夏は暑さが厳しくなるとの予報です。

広島廿日市ロータリークラブの皆様には、どうかお体をご自愛されまして、お元気で過ごしてくださいませ。

活動報告

地区研修・協議会

2016年5月15日
ホテルグランヴィア広島



大藤会員・松浦会員 勲章受賞 祝う会

2016年6月13日
シェラトンホテル広島



薬物乱用防止街頭キャンペーン

2016年6月26日
ゆめタウン廿日市

